

第 27 回

令和 8 年 3 月 16 日

No.1774

会長 藤田 敬治

幹事 菊池 武司

例会日 / 毎週月曜日 12:30~

例会場 / トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

よいことのために手を取りあい、
新たなクラブ活動を目指そう！
~明るく、楽しく、さわやかなクラブ運営を~

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp

UNITE
FOR
GOOD

R I 会長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐

2025-'26年度
国際ロータリーのテーマ

「よいことのために
手を取りあおう」

フランチェスコ・アレツォ
藤田 千克由
森 永 隆 二

■ 本日のプログラム (3月16日) 於 : 割烹にしおか

19:00 点	鐘
ロータリーソング	「我等の生業」
ゲスト・ビジターの紹介	会長 藤田 敬治
会長の時間	会長 藤田 敬治
出席報告	出席担当 高橋 道成
幹事報告	幹事 菊池 武司
委員会報告	「関係委員会」
ニコニコタイム	高橋 道成
19:20	創立41周年記念例会

■ ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト : 安徳 久仁理様(大分RC)
 ビジター : 安東 健治様((株)安藤農園 代表)
 橋本 陽嗣様(大分市農林水産部 審議監)
 那賀 照晶様(共栄建設(株) 社長)

■ 第26回例会の記録 (3月9日)

「大分の農業は大丈夫なのか？」

日本銀行大分支店 支店長

安徳 久仁理様 (大分RC)

・出席報告 (3月9日)

会員総数	22 名
3 月 9 日	
出席免除	1 名
出席会員数	16 名
出席率	76.19 %
ゲスト	1 名
ビジター	5 名
2 月 16 日	
修正出席率	81.82 %

ロータリーソング

【我等の生業】

我等の生業なりわいさまざまなれど 力むるところは向上奉仕
 集いてな図る心は一つ おお ロータリアン
 求むるところはやわらぎ むつみ平和親睦 我等の集い

■ 会長の時間 (3月16日) 会長 藤田 敬治

本日は、41回目のクラブ創立記念例会が開催できますこと、心より感謝申し上げます。

当クラブは、1985年(昭和58年)3月18日(月)、創立総会(第1回例会)が大分商工会館にて開催され、大分市内では、大分東RCをスポンサーとして6番目に誕生しております。

会長に岩尾長満氏(故)、幹事には高山泰四郎名誉会員、西岡一雄名誉会員、木村成淑会員をはじめ、会員総数31名でスタートしております。

第2回例会からは、現在と同様に週報が作成され、プログラムも、現行のものと同様内容で開催されました。

その週報の中に、設立当初のロータリーへの想いが込められた岩尾会長のスローガンが掲載されており、現在の私共ロータリアンにとっても、欠かすことのできないメッセージではないかと感じましたので、ご紹介いたします。

(岩尾初代会長のメッセージ)

- ・ロータリーにより出会い、できた縁えにし
- ・クラブ例会に集い、知り合いを深め(親睦)
- ・ロータリーを理解しよう

80年の歴史のなかで創意工夫され、磨かれてきたロータリー、先人の努力の積み重ねのなかに、はぐくまれた現代のロータリー。ロータリーの縁により知り合い、奉仕の理想に結ばれた私達、クラブ奉仕活動のもと職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕の原点をさぐり、会員のクラブの充実、成長に努力しましょう。

日本銀行大分支店 支店長 安徳 久仁理様 (大分RC)

大分県の農業産出額は、2000年以降全国平均を上回るペースで減少し、19年時点では00年比で2割以上減少、全国順位も25位まで低下した。品目別にみると、肉用牛や豚などの畜産こそ増加したが、米、果実、花きなど大半の農作物が大きく減少し、全体の産出額を押し下げてきた。農業産出額は生産量と価格によって決まるが、この期間の主因は全般的な生産量の減少と米価の下落である。20年以降は農産物価格の上昇を背景に産出額は増加傾向へ転じているが、生産量自体は多くの品目で減少が続いている。

生産量減少の背景として、第一に農業従事者の減少と高齢化がある。大分県の農業従事者数は全国平均よりも速いペースで減少しており、20年時点では65歳以上が約6割を占める。若手就農者は一部増加しているものの、50代以上の減少幅が大きく、全体として急速な縮小が進んでいる。他産業と比べて付加価値額や賃金水準が低いことも就業者減少の一因とみられる。

第二に耕地面積の減少がある。00年から25年にかけて大分県の耕地面積は約4割減少しており、全国平均よりも減少ペースが速い。農地の転用や耕作放棄地の増加が主な要因であり、荒廃した農地の再生は難しいため、農業基盤の弱体化が懸念される。

こうした状況を踏まえれば、農地の維持と担い手の確保が急務であることは明白である。大分県の食料自給率は実は5割未満でしかなく、地域の食料安全保障の観点からも生産基盤の維持が重要である。新規就農や企業参入を促進する環境整備により担い手減少に歯止めをかけるとともに、スマート農業の導入や農地集約などによって労働生産性を高め、「稼げる農業」へと転換していく必要がある。この点、大分県は、変化に富む地形・気候を活かして多様な農産物を生産できる潜在力を有している。高付加価値品目の生産強化や輸出拡大などによる需要確保も有力な方向性ではないか。

26年に全面施行される食料システム法により、合理的な費用を反映した価格形成が促進されることになるが、法の趣旨を達成するためには、生産者自身によるコスト管理や収益管理の強化も必要だ。行政やJAによる人材育成、新規就農支援、企業参入促進などの取り組みは一定の成果を上げているが、こうした支援と農業者の努力だけでは農業基盤の持続性は覚束ない。地元産品に気持ちよくお金を払い、農家が営農を続けられるだけの価格転嫁を許容する私たち消費者の姿勢が、何より重要ではないか。



幹事報告

- ・地区ラーニング・協議会について
2026年4月5日(日) ZOOMで配信されます。
接続開始9時。ラーニング・協議会10時～16時
各委員長さんは、この研修を活かしクラブ奉仕計画書の作成をお願いします。

【出席者】

次年度地区部門長	坂本 肇会員 (職業奉仕部門)
次年度地区委員	穂田 英一郎会員 (地区ラーニング委員)
会長部会	大木 孝吉会員
幹事部会	佐方 文昭会員
管理運営部会	清水 将文会員
公共イメージ部会	宿利 美穂会員
会員増強拡大部会	利光 勇一郎会員
職業奉仕部会	坂本 肇会員 (兼務)
国際奉仕部会	高橋 道成会員
青少年奉仕部会	藤田 敬治会員

例会の予定

- 3月23日(月) 地区補助金プロジェクト計画(3)
- 3月30日(月) コンパルホール昼例会303会議室
- 4月 6日(月) ゲスト卓話 石丸 文子様卓話
- 4月13日(月) 藤田 敬治会長の卓話
- 4月20日(月) 職場例会「南蛮BVNGO交流館」
- 4月27日(月) 定款細則の規定により休会
- 5月 4日(月) 祝日休会
- 5月11日(月) 次年度組織発表
- 5月18日(月) 仮)愛育学園はばたき 倉掛智徳様の卓話
- 5月25日(月) 仮)ゲスト卓話 (大木会員より紹介)

ニコボックス

★大木 孝吉副会長 (1口)

7日、8日に次年度会長研修に参加しました。大変、有意義な為になる2日間でした。

感謝の気持ちで1口させていただきます。